

総合科学の基礎C
哲学思想の基礎

2018/05/25

小テストと宿題小テストの解答

問1

83%

- これまでの授業を踏まえて、民主主義について正しいのは。
 - ① 民主主義の本質は多数決である。
 - ② 民主主義の理念はメンバーの人権保障である。
 - ③ 民主主義のルールは議会の多数派が決めるのが理想である。
 - ④ 人権保障という理念に照らせば、どういうルールが正しいかはだれの目にも明らかである。

問2

66%

- ルソーは、どのようにすれば投票によって理性的な結果が出ると考えたか。
- ① 各人が誰とも相談せずに自分で考えて投票する。
 - ② 各人がお互いに十分に相談して投票する。
 - ③ 各人が自分の常識的感覚を基準にして投票する。
 - ④ 有識者の一票に重みを付ける。

問3

67%

- フランス語や英語で、「自分でよく考える」と「人と十分議論する」という意味を表す語は何か。

- ① Liberation
- ② Deliberation
- ③ Discussion
- ④ Dialectic

問4

86%

• 山口は、理性（本来は「知性」）はどのようなものだと考えているか。

① 生得的に万人が持っている。

② 基本的な部分は生得的であるにせよ、他者との交流の中で育つ。

③ 情報処理機能なので、情報を得ることで変化することはない。

④ 人それぞれに違う理性を持っている。

問5

89%

・ 山口は、「感情」についてどのように評価しているか。

① 感情は人間の生活を豊かに彩る。

② 感情は問題の解決に役立つ。

③ 感情は合理的判断の根拠になる。

④ 感情は眼前の状況に対する反射的反応である。

宿題小テスト

問1:「普遍的傾向として男性より女性の方が地位が低いことを、何故男女平等でないから正しくないとして、現代で議論するのか」というコメントになんと応答したか。

93%

- 男性よりも女性の方が選択肢の範囲が狭いことが不平等だ、という考えです。
- 男女平等は憲法が定める理念ですが、実現されていないからです。
- 男性と女性は身体的には違いがありますが、知的には同じだからです。
- 日本は世界的に見て女性の社会参加が非常に遅れた国です。

問2:「どちらがより好まれるのかという点において違いがある、というのは、価値観に違いがある、ということではないのだろうか」というコメントになんと応答したか。

95%

- 「価値観が違うからといって正しさが違う」というのは間違いだ、と言ったのです。
- 世界中で価値観はほぼ同じです。
- 価値観の違いはありますが、正しさの違いはありません。
- 人それぞれの価値観の多様性の方が、「社会」の価値観の多様性よりも大きいです。

問3:「社会が誤ることがあるとわかっているのに当然のように社会は人を処罰していいのか疑問だ」というコメントになんと応答したか。

93%

- 処罰は機械的に行うのではなく、裁判で被告側の主張を聴いたうえで行うことになっています。
- そのとおりですね。
- 刑罰とは、国家権力による暴力なので無くしていかなくてはなりません。
- 「社会が人を処罰する」とは、具体的にはどういうことでしょうか？

問4:「同じ世界の中でも、文化が違えば「正しさ」というものは変わっていくからだ。よって「正しさ」というものに大きな差は無いという考えに反対だ」というコメントになんと応答したか。

87%

- 日本には「セクハラ罪」がないからといって、セクハラOKというわけではないでしょう。
- 文化の違いではなく、法制度の歴史的な状況により、処罰すべき行為とそうでない行為が区別されています。
- 処罰すべき行為とそうでない行為は、国会が決めるのであって、文化が決めるものではありません。
- 刑罰は、国民を統制するために人為的に設計されます。

問5 : Morten Christiansen et al. “Sound–meaning association biases evidenced across thousands of languages” (PNAS , September 27, 2016. 113 (39) 10818-10823)に書かれていることは、おおむねどういうことか。

86%

- 言語音と意味との間には一定の関係が偶然以上の確率で見られる。
- 言語音と意味との関係は恣意的であって、法則性はない。
- 文法構造は普遍的である。
- 文法構造は言語によって大きく異なり、共通性はない。

★5月11日「学生のコメントとそれへの応答」についての設問

問6:「余命別選挙制度は少子高齢化により有権者に占める高齢者の割合が増加し、若者と高齢者のもつ1票の価値が同じだと、若者が圧倒的に不利な状況にあるという世代間の不公平を防ぐために数年前から提唱されている」というコメントになんと応答したか。

88%

- これは選挙制度の問題ではなく、これまでの社会福祉政策の結果です。
- 「一人一票」の原則が崩れるので、好ましくありません。
- 若者の投票率を上げることが先決です。
- 世代別の投票行動と世代間の不公平は関係ありません。

問7: 山口裕之「どうして「科学技術振興予算は今後、増えません」と断言できるのか」(『全大教時報』Vol.41, No.2, 13-28, 2017)によると、日本の社会保障制度が「若者が圧倒的に不利な状況にある」ことの原因は何か。

62%

- 日本[○]の社会保障制度は、企業と女性に負担を押し付ける形で成立し、公的な社会保障は退職後の分に特化することになったから。
- 高齢者の投票率が高いため、政治家は高齢者を優遇する政策を進めたから。
- 少子化が進んだため、少人数の若者で多数の高齢者を支えることになったから。
- 不況のため、若者の就職率が低下したから。

問8:「なぜ、ニュースで取り上げられるような問題を起こす政治家を選んでしまうのだろうか」というコメントになんと応答したか。

99%

- もちろん、国民の投票行動の問題でもあります
が、選挙制度の問題でもあります。
- 国民一人ひとりの意識を改善していくことが必要
です。
- みなさんは大学できちんと学んで投票に行ってく
ださい。
- 政治家として立候補する人は、権威主義的で
リーダーとしての資質に欠ける人が多いからで
す。

★5月18日「学生のコメントとそれへの応答」についての設問

問9:「厳密に言えば共同体の意思はその共同体の中で「力の強い意思」と一致するのではないでしようか」というコメントになんと応答したか。

94%

- それでは困るので、そうならないためにはどうすればよいか、というのがルソーなど民主主義の思想家たちの苦闘です。
- 現実にはその通りですが、だからといってそれが正しいということにはなりません。
- 「力が強い者が勝つ」社会は好ましくありません。
- 一人一人が、他人の意見に左右されない判断力を持つことが必要です。

問10:「最近よく耳にする「道徳」は「人の扱い方」であり、「道徳的」とは「思いやりのある」ことであるということを教わった」というコメントになんと応答したか。

99%

- 道徳的とは「相手を尊重する」ことです。
- 「思いやり」とは上から目線ですから、実は非道徳的な態度です。
- 「思いやりと感謝」が道徳の二大原則です。
- 道徳とは、国家と個人の関係です。

問11:「国境と民族境界が異なる中東アジアやアフリカなどでは民主主義の制度を取り上げても対話が成り立たなくなるため。これがアラブの春などの中東での一連の革命で民主化が進んだものの民主主義が成り立ちにくい原因である」というコメントになんと応答したか。

94%

- 「民族」というものは、自然的な根拠があるわけではなく、近代に作り上げられた概念です。
- 民族が異なっても対話は可能です。
- アラブ周辺では民族の境界と国境とはおおむね一致しています。
- 「アラブの春」では、各国は民主主義の制度を取り入れることにそもそも失敗しました。

問12: 饗場和彦「ルワンダにおける1994年のジェノサイド」(徳島大学社会科学研究所第19号、2006年)によると、植民地化以前のルワンダにおける「民族」は、どのような状況だったか。

69%

- 「ツチ」と「フツ」という明確な民族意識はなく、農耕(フツ)と牧畜(ツチ)という生業集団だった。
- 支配階級のツチ族が、フツ族を搾取していた。
- ツチ族とフツ族の支配領域が異なり、平和に共存していた。
- フツ族の王国にツチ族が侵入して制圧、支配するようになった。

問13:「国内の状況をよく知らないであろう外国人が改正に関わってしまうと、国の状況をうまく反映できていない改正になってしまう」というコメントになんと応答したか。

91%

- 基本的人権は状況によって変わるものではないので、憲法は状況に合わせて変えるようなものではありません。
- 国内の状況とは、基本的に支配—被支配関係なので、それを配慮して憲法を作ることは好ましくありません。
- 国内の状況は外国との関係で決まるので、外国人であっても十分に理解できます。
- 外国人と協力することで、多面的な視点から検討して憲法を作ることができます。

問14:「即物的なメリット抜きに高額な学費を払ってまで大学に行く選択肢をとることが自然かという
と首をかしげずにはいられない」というコメントになんと応答したか。

94%

- フランスやドイツなど、ヨーロッパの多くの国では大学は無償で、しかも給付型の奨学金制度があるのが普通です。
- 山口裕之『「大学改革」という病』を読みましょう。
- 大学に行くことはステイタスなので、むしろ学費が高い方が好まれます。
- 現実的に言って大学は就職と直結しているので、「そうでなかったら」という仮定をすることに意味はありません。

得点別人数

